

# 多文化共生社会の構築シンポジウム 外国につながる高校生たちの「活躍する力」を拓く

---

NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ 事務局長  
神奈川県央地域若者サポートステーション総括コーディネーター  
高橋 清樹

2020年12月20日(日)日立財団シンポジウム

## 定住外国人の若者とは？

外国につながる若者

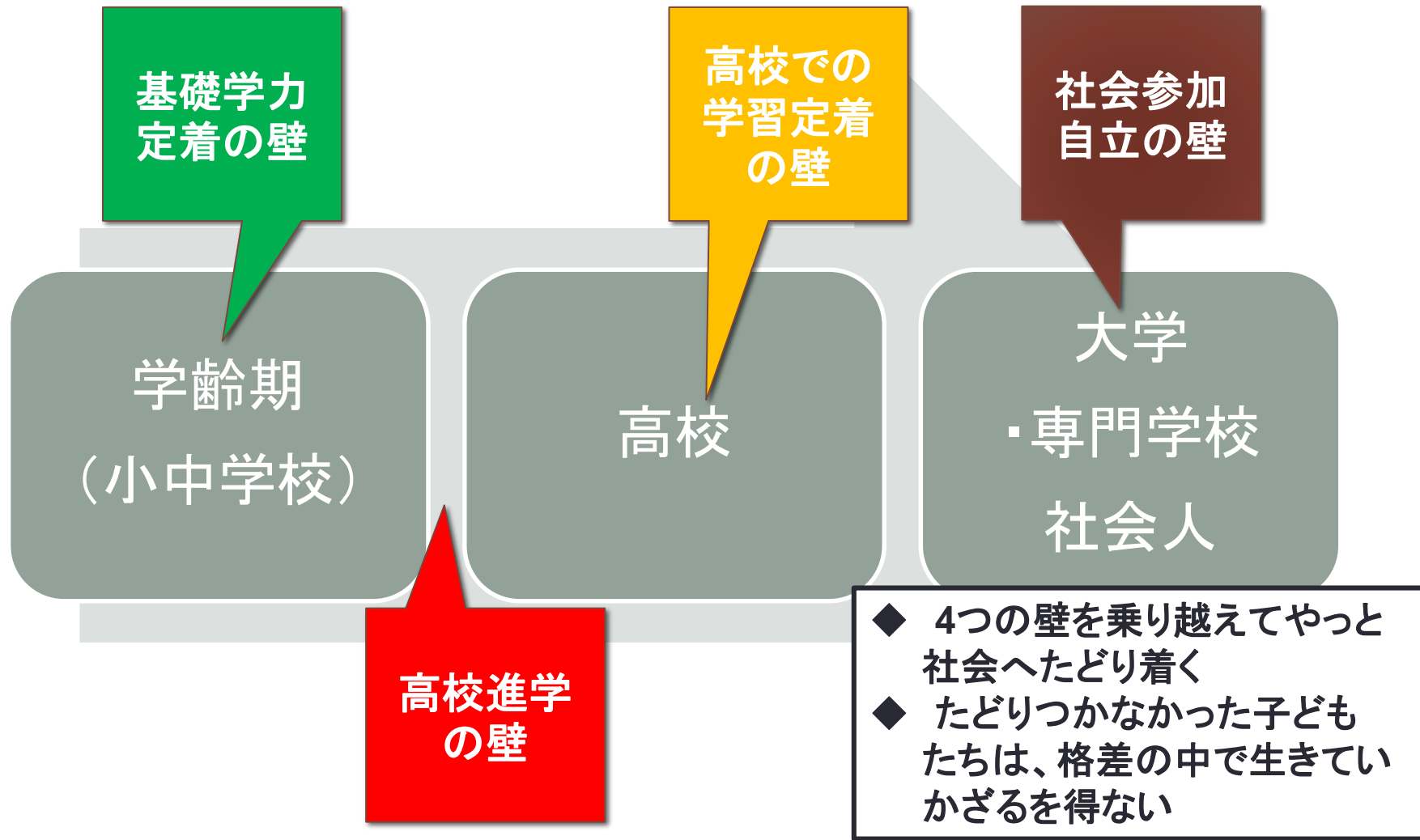
- (戦後すぐの「在日韓国朝鮮人」→特別永住者約34万人)
- 1979年のインドシナ難民の受け入れ→約1万人
- 1990年の入管法改正により「日系人2世・3世」→日本人の配偶者等及び定住者約30万人
- 1990年代からの「中国帰国者とその家族」→約2万人
- 「就労ビザで来日した外国人とその家族」→**増加傾向**
- 「国際結婚の家族」

◆ 定住・永住・家族滞在の若者  
(18歳～22歳)

約6万人(2019年12月)

◆ 外国ルーツで日本籍の若者  
も同数程度(推定6万人)

# 外国につながる子ども・若者 ライフコースにおける4つの壁



# ME-netの特徴

認定NPO法人多文化共生教育  
ネットワークかながわ

- 1995年に高校教員や日本語支援者が集まり、ボランティア団体として設立（「多文化共生」を意図したゆるやかなネットワーク）
- 約10年間、高校進学ガイダンスを実施



2006年が  
大きな転機

- 神奈川県のお成金により事業化
- 「かながわボランティア活動推進基金21」協働事業に公募し、採択され、県教育委員会との協働事業はじまる

◆かながわボランティア活動推進基金21  
行政とNPOが対等な立場で事業を実施  
予算は県が負担。5年まで継続可  
教育委員会と課題が共有され、事業が拡大  
⇒現在も教育委員会予算で継続実施している

# ME-netの活動の推移

1995年

高校進学ガイダンス+ガイドブック

2005年

教育相談+フリースクール

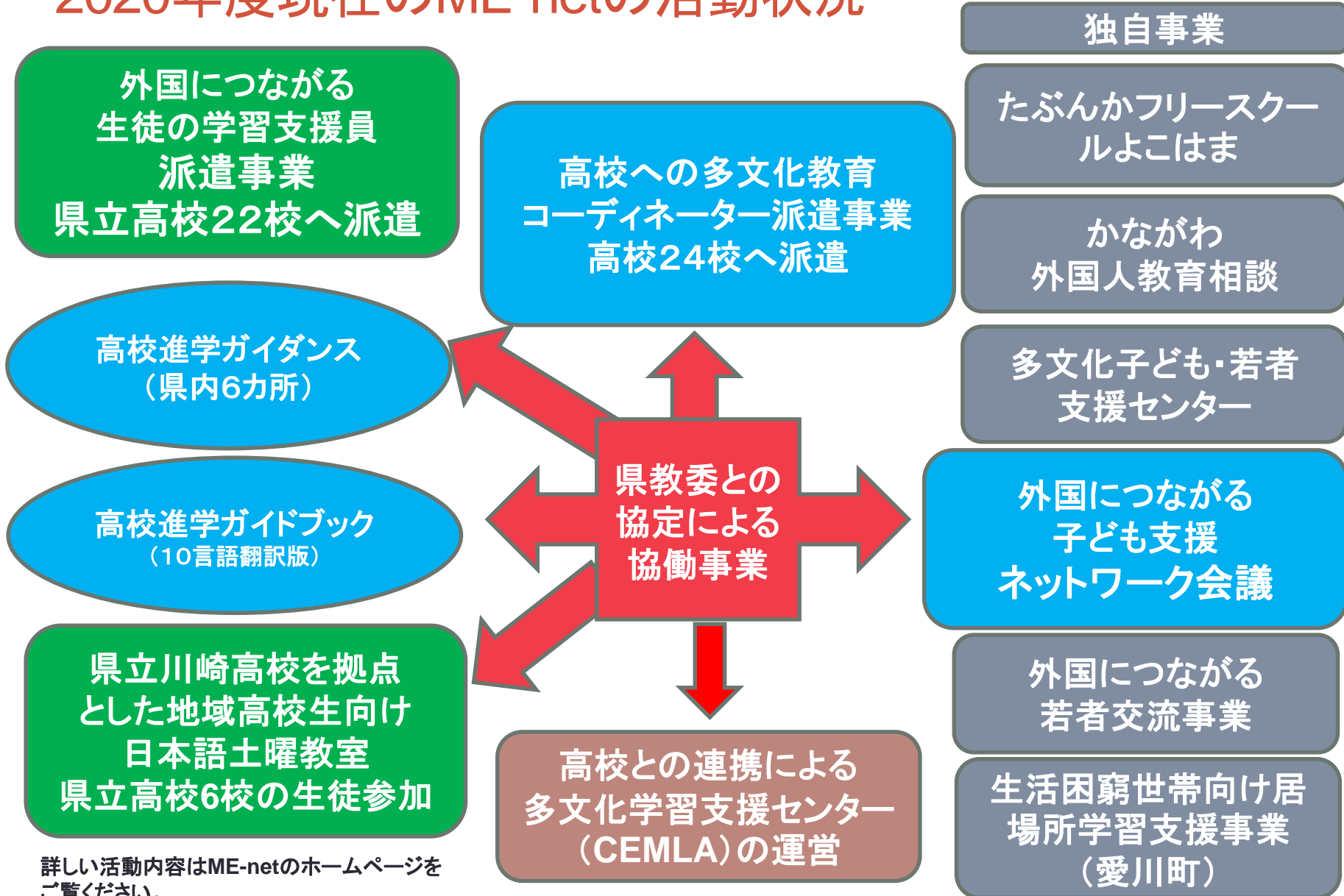
2006年  
~

高校進学ガイダンス+ガイドブック  
多文化教育コーディネーター派遣  
ネットワーク会議

高校への  
入口支援

高校の中  
での支援

# 2020年度現在のME-netの活動状況



詳しい活動内容はME-netのホームページをご覧ください。

# 神奈川県における支援体制

- 県と市の教育委員会が連携して、支援体制を構築している。  
⇒小中高を通し、一貫した支援の継続を目指して！
- 教育行政と国際交流協会及びNPOが連携する体制もできている。  
⇒支援会議やネットワーク会議を実施し、課題の共有と解決に向けてのアクションプラン作り
- 高校の支援は県が予算化し、NPO(ME-net等)と協働して実施している。  
⇒多文化教育コーディネーター・サポーター派遣  
⇒通訳派遣 ⇒学習支援教室(2ヶ所)

# ME-netの高校世代の子ども支援体制

生活困窮世帯向け居場所学  
習支援事業  
(愛川町・木曜18時)  
愛川町在住小・中・高

多文化学習活動センター  
CEMLA  
(相模女子大・土曜日10時)  
地域在住中・高

たぶんかフリースク  
ールよこはま  
(坂東橋月・火・木  
10時～16時30分)  
既卒来日者向け

高校への多文化教育  
コーディネーター派遣事業  
高校24校へ派遣

コーディネーター33名  
サポーターが124名  
多様な人材が連携して  
支援した。(2019年度実績)  
・通訳は県の別予算で派遣

多文化子ども・若者支援センター  
みらとび教室  
(桜木町さくらリビング月・火の夜)  
地域の中・高

県立川崎高校での  
日本語学習支援教室  
(県立川崎高校・土曜日  
①10時～12時②13時～15時  
川崎地区・横浜東部地区  
の県立高校の生徒



## ～高校内でのサポートの主な内容と流れ

### 入学時

- 合格者説明会、オリエンテーション等でのサポート(通訳派遣、翻訳文書、在籍把握等)
- プレイスメントテストの実施

### 学期中

- 授業や補習等でのサポート(日本語や教科指導やキャリア授業等へのサポーターの派遣やアドバイス)
- 三者面談等でのサポート(通訳派遣)
- 母語による聞き取り調査三者面談等でのサポート(通訳派遣)
- 先輩との交流会の実施
- 学校行事のサポート(文化祭等)
- 定時制における「校内相談カフェ」の実施
- 学校での担当者会議での情報交換
- 「学校外でのイベント」への呼びかけと同行

### 進級・卒業時

- 三者面談等でのサポート(通訳派遣)
- 進路についてのサポート

# 活動事例)「高校生向け進路相談会」

- 2019年7月に神奈川県内2カ所で開催 参加生徒数約120名



7月6日ユニコムさがみはら

7月27日県立川崎高校



## なぜ「高校生向け進路相談会」が必要か？

- 外国につながる高校生への進路・キャリア支援
  - ⇒高校での支援だけでは不十分
  - ⇒外国につながる特有の課題がある
    - ・在留資格の問題
    - ・言葉の問題
    - ・進路選択への情報不足
  - ⇒最も効果があるのは「先輩大学生の体験談」
- 大学、専門学校側の意識改革
  - ⇒「留学生」ではない「外国につながる高校生」の存在

# 多文化ユースプロジェクト

→当事者の若者の取り組み

<https://www.multiyouth.com/multiculturalyouth/articles/c19e5d4f-eaea-4baa-883a-01d7e65ad6fc>

外国にルーツをもつ高校生のための進路体験まとめ

📅 2020-07-13 👁 756



40人の若者の  
体験談が掲載さ  
れている。



# 外国につながる若者の将来の夢

国籍や言葉で夢が叶わない子がでないようにしたい

外国語を人や社会のために使うような仕事をしたい

将来途上国でより多くの子どもたちが教育を受けられるようにすることが夢

企業や国家機関に関わらず、外交に関わる仕事がしたい

プログラミングとネットワークを通じて困っている人々の役に立ちたい

将来私は利用者様に信頼され、掛け替えのない介護福祉士として日本で頑張っていきたいです。

# 外国につながる若者の思い

